

細菌性食中毒注意報(本年度8回目)の発令について

本日、前2日間の最高気温の平均が30℃以上、また平均湿度75%以上となり、今後も高温多湿の気象条件が続くと、細菌性食中毒の発生のリスクが高まることから、愛媛県及び松山市は「食中毒注意報発令要領」に基づき、細菌性食中毒注意報を発令しました。

また、直ちに県下の各保健所等へ、関係業界に対する指導強化を指示するとともに、住民に対する周知を依頼しました。

発令期間

令和7年 9月16日(火) から9月25日(木) まで(10日間)



9月も注意すべき細菌性食中毒は？

過去5年の9月には、全国でカンピロバクター、サルモネラ属菌、ウエルシュ菌などによる食中毒が多く発生しました。

これらの細菌の特徴や食中毒の主な原因食品、症状などは下表のとおりです。

また、次ページでは具体的な予防のポイントや食中毒予防の三原則を紹介します。

表 過去5年の9月に多く発生した細菌性食中毒

原因菌	カンピロバクター 	サルモネラ属菌 	ウエルシュ菌 
特徴	・ニワトリやウシなどが保有 ・少量の菌数でも食中毒が発生	・動物の腸内や、河川など自然界に広く生息	・ヒトや動物の腸管、土壌や下水などに広く分布 ・熱に強い芽胞をつくる ・酸素のない環境を好む
主な原因食品	生や加熱が不十分な鶏肉(鶏レバーやささみなどの刺身、鶏肉のタタキ、鶏わさ、生焼きの焼き鳥など)	・卵やその加工品、食肉 ・ペットやネズミなど動物を介して汚染された食品 ・保菌者や調理器具を介して二次汚染された食品	カレーやシチュー、煮魚、麺のつけ汁など、大量に調理され、そのまま室温で冷められた食品
潜伏期間	1~7日	12~48時間	6~18時間(平均10時間)
主な症状	下痢、腹痛、発熱など	激しい腹痛や下痢、発熱、嘔吐など	腹痛や下痢など
9月の発生状況(R2~R6の合計)	事件数:88件 患者数:451人	事件数:16件 患者数:513人	事件数:12件 患者数:509人

“細菌による食中毒”. 厚生労働省.  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryoushokuhin/syokuchu/saikin.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoushokuhin/syokuchu/saikin.html)  
 “4. 食中毒統計資料”. 厚生労働省.  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryoushokuhin/syokuchu/04.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoushokuhin/syokuchu/04.html)

## 細菌性食中毒の予防のポイント

### 清潔 (細菌をつけない)

- 調理前、食事前、用便後には、手をよく洗いましょう。
- 台所は、整理整頓し、常に清潔にしましょう。
- まな板、ふきん等は、十分に洗浄消毒を行いましょう。
- ハエ、ゴキブリ等の衛生害虫は、定期的に駆除しましょう。
- 魚介類等は、真水で十分洗い、専用まな板で調理しましょう。

### 迅速・低温保存 (細菌を増やさない)

- 調理は手際よくしましょう。
- 調理した食品は、早く食べましょう。
- 食品を、長時間室温放置しないようにしましょう。
- 生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。  
刺身等は4℃以下で保存しましょう。
- 冷凍保存は、-15℃以下で保存しましょう。
- 冷蔵庫は詰め込み過ぎないようにしましょう。(7割程度)

### 加熱 (細菌をやっつける)

- 加熱して食べる食品は、中心部まで十分火を通しましょう。



(参考)

食中毒注意報発令状況

令和7年度

	注意報区分	発令期間
1	ノロウイルス食中毒注意報	令和7年4月11日～6月19日
2	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第1回)	令和7年6月17日～6月26日
3	腸炎ビブリオ〃	令和7年6月18日～9月30日
4	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第2回)	令和7年6月27日～7月6日
5	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第3回)	令和7年7月10日～7月19日
6	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第4回)	令和7年7月22日～7月31日
7	サルモネラ〃	令和7年7月25日～9月30日
8	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第5回)	令和7年8月13日～8月22日
9	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第6回)	令和7年8月25日～9月3日
10	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第7回)	令和7年9月5日～9月14日
11	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第8回)	令和7年9月16日～9月25日

令和6年度

	注意報区分	発令期間
1	腸炎ビブリオ食中毒注意報	令和6年6月14日～9月30日
2	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第1回)	令和6年7月1日～7月10日
3	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第2回)	令和6年7月18日～7月27日
4	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第3回)	令和6年8月7日～8月16日
5	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第4回)	令和6年8月20日～8月29日
6	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第5回)	令和6年9月2日～9月11日
7	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第6回)	令和6年9月12日～9月21日
8	ノロウイルス食中毒注意報	令和7年1月17日～3月27日

令和5年度

	注意報区分	発令期間
1	腸炎ビブリオ食中毒注意報	令和5年6月20日～9月30日
2	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第1回)	令和5年6月28日～7月7日
3	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第2回)	令和5年7月10日～7月19日
4	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第3回)	令和5年7月20日～7月29日
5	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第4回)	令和5年7月31日～8月9日
6	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第5回)	令和5年8月14日～8月23日
7	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第6回)	令和5年8月24日～9月2日
8	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第7回)	令和5年9月4日～9月13日
9	細菌性(腸炎ビブリオ除く)〃(第8回)	令和5年9月14日～9月23日
10	ノロウイルス食中毒注意報	令和6年1月26日～4月4日

(年度別注意報発令回数)

H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
8	8	8	7	5	6	6	11	10	8

## 食中毒発生状況一覧

### 令和7年度【愛媛県】

(注)松山市を除く

	発生日	原因施設所在地	喫食者数	患者数	うち死者数	原因食品	病因物質	摂取場所	調理場所
1	4月7日	今治市	98	39	0	会食	ノロウイルス	飲食店	飲食店
2	6月20日	今治市	98	19	0	施設で調理提供された食事	サルモネラ属菌	施設	施設
3	7月2日	伊予市	122	89	0	弁当	サルモネラ属菌(O9群)	事業場等	製造所
合計			318	147	0				

### 令和6年度【愛媛県】

(注)松山市を除く

	発生日	原因施設所在地	喫食者数	患者数	うち死者数	原因食品	病因物質	摂取場所	調理場所
1	7月15日	今治市	73	13	0	会食	カンピロバクター	飲食店	飲食店
2	9月24日	四国中央市	6	5	0	会食	カンピロバクター	飲食店	飲食店
3	11月17日	宇和島市	38	11	0	会食	サルモネラ属菌(O7群)	飲食店	飲食店
4	1月25日	今治保健所管内	25	12	0	会食	クドア・セブテンブクタータ	飲食店	飲食店
5	2月24日	今治保健所管内	19	13	0	ヒラメの刺身	クドア・セブテンブクタータ	家庭、飲食店	飲食店
6	3月3日	新居浜市	9	4	0	会食	ノロウイルス	飲食店	飲食店
7	3月31日	西条市	30	16	0	焼きガキ	ノロウイルス	イベント会場	イベント会場
合計			200	74	0				

### 令和5年度【愛媛県】

(注)松山市を除く

	発生日	原因施設所在地	喫食者数	患者数	うち死者数	原因食品	病因物質	摂取場所	調理場所
1	4月5日	不明	1	1	0	不明	アニサキス	不明	不明
2	6月5日	四国中央市	17	8	0	会食	カンピロバクター	飲食店	飲食店
3	11月5日	八幡浜保健所管内	32	6	0	刺身及び寿司(推定)	不明	飲食店	飲食店
4	2月8日	大洲市	10	7	0	仕出し弁当	ノロウイルス	施設等	飲食店
合計			60	22	0				

### 【松山市】(令和7年9月16日現在)

	発生件数	喫食者数	患者数	うち死者数
7年度	2	138	51	0
6年度	9	519	166	0
5年度	6	402	72	0